

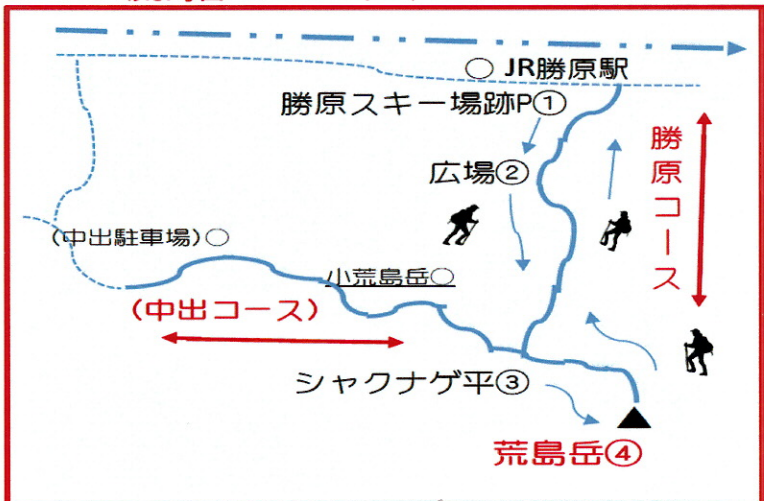
荒島岳 (1523m) (勝原コース)



(ハイライトシーン) [※ 実施日--2022年7月26日(火)] ※弥生班 計6名

(荒島岳 ロードマップ)

① (8:30 勝原登山口)



② (準備体操とミーティング)

③ (登山届)

④ (勝原スキー場跡)

⑤ (弥生班の新人)



⑦ (展望よし!!)

⑥ (11:00 シャクナゲ平到着)

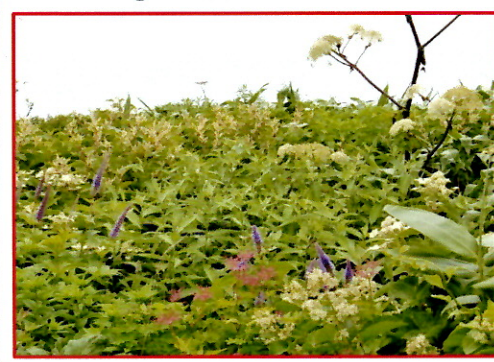


⑧ (荒島岳山頂)
12:20 到着



⑨ (登頂を祝し乾杯!!)

⑩ (山頂のお花畑)



荒島岳 (1523m)

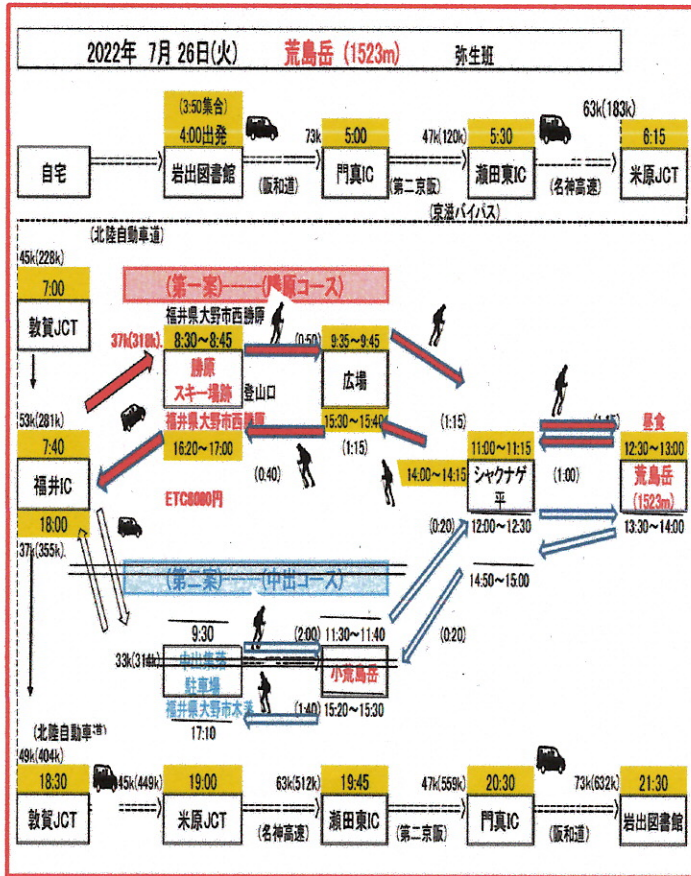
紀峰山の会 (弥生班)

※(山行日) ---- 2022年7月26日

(メンバー) -----計6名

※(行程) [予定]

※(行程) [結果]



(往路---車移動)

- 岩出図書館 (出発) 4:00
- 勝原スキー場跡 (到着) 8:20

(山行)

- ① 駐車場 ----- 8:30
- ② 広場 ----- 9:40
- ③ シャクナゲ平 ----- 11:00
- ④ 荒島岳 昼食 ----- 12:20
- 荒島岳 出発 ----- 12:45
- ③ シャクナゲ平 ----- 13:40
- ② 広場 ----- 15:00
- ① 駐車場 ----- 16:00

(帰路---車移動)

- 勝原スキー場跡 (出発) 16:15
- 岩出図書館 (到着) 21:30

※[はじめに]

(荒島岳)

- ・荒島岳は福井県内で唯一、日本百名山に選ばれた山で、別名、「大野富士」と呼ばれている。
- ・荒島岳への登山は、4つのコースがある。
 - 「勝原(かどはら)コース」
 - ・最も人気のある荒島岳のメインコース
 - 「中出(なかにで)コース」
 - ・深田久弥が歩いた百名山ゆかりコース
 - 「佐開(さびらき)コース」
 - ・クラシックコースの荒島岳の裏道、
 - 「新しもやまコース」
 - ・和泉地区より登るコース
- ・今回は、「勝原(かどはら)コース」のピストン山行である。

(写真1) (8:30 勝原登山口)



(荒島岳 ロードマップ)



(写真2) (登山口で準備体操とミーティング)



・天気は上々!!本日は6名参加。
準備体操の後は本日の行程の打合せ実施

(写真3) (登山届を投函)



・安全祈願をして、登山届を提出

(写真4) (勝原スキー場跡)



・ゲレンデ跡の勾配はきつい!!
ベテラン組4名はマイペースで、残りの
2名は登頂目指して、2班に分かれる。

(写真5) (初参加、弥生班の新人!)



・わくわく気分の中にも緊張感と不安が...

(写真6) (白山ベンチの標識)



・標高935m地点。 行程の2/5。

(写真7) (急登、階段が続く)



・初参加であるが、スイスイさっそうと進む。

(写真8) (深谷ノ頭の標識)



・標高1,015m地点。 行程の3/5。

(写真9) (11:00 シャクナゲ平に到着)



(写真12) (乾〜杯)



- ・ 2人の登頂を祝して乾杯
(後に残した4人……ごめんなさい)

(写真10) (眼下に大野市)



- ・ ここからの眺めも最高!!

(写真13) (山頂のお花畑)



- ・ 昼食後、お花畑を一周し下山。
山頂を12時45分出発——登山口16時到着

(写真11) (12:20 荒島岳 山頂)



※[最後に]

- 荒島岳は予想以上に厳しく、粘土質の坂や、木の根っこが多い滑りやすい行程で時間を要した。
- 今回は、体力面等を考慮し途中で2班に分かれたが、通信手段で情報伝達を行った。
- 初参加者には事前の注意事項を伝達していたが、1度、大きく滑った箇所があった。指を擦りむいた程度で事なきを得た。
- 頂上では、九州や北海道からきた山行者もあり色々な情報交換ができた。
- 荒島岳への登山は4コースがあり、今回は勝原コースのピストン山行であったが、山頂で出会ったグループは中出コースへの周回コースが多く、次回は周回コースに挑戦してみたいと思う。